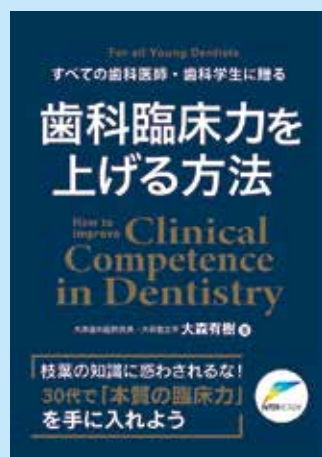


エビデンスを抑えておけば
臨床現場も患者さんも
楽になる！



A4判 104ページ 定価8,800円 (税込)
ISBN978-4-909066-81-7 C3047

「真の成長」
のためのロードマップ
ここに公開



四六判 126ページ 定価5,500円 (税込)
ISBN 978-4-909066-84-8 C3047

歯科医師のための
「印象のよい99の言い換え」
例を収載！



A5判 124ページ 定価4,620円 (税込)
ISBN 978-4-909066-87-9 C3047

部分床義歯製作の
迷いをゼロにする
臨床現場の最強ルールブック



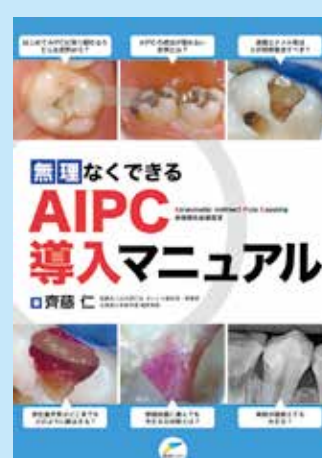
A4判 136ページ 定価11,000円 (税込)
ISBN978-4-909066-88-6 C3047

経験や感覚に頼らない、
確実に適切な補綴設計を
導き出そう！



A4判 208ページ 定価11,000円 (税込)
ISBN 978-4-909066-89-3 C3047

はじめての
AIPC (非侵襲性歯髄覆罩)
を成功に導く臨床マニュアル



A4判 76ページ 定価8,250円 (税込)
ISBN 978-4-909066-90-9 C3047

注文票

品名	税込価格	冊数
0歳から始まる 小児の歯並びと咬合の導き方 ○△V 型口蓋の判別から始める早期介入アプローチ	8,580 円	

Early Intervention Approach

0歳 から始まる

小児の歯並びと咬合の導き方

○△V 型口蓋の判別から始める早期介入アプローチ



著者 増田 純一 佐賀県武雄市・マスタ小児矯正歯科医院

【略歴】 1942 年 佐賀県武雄市生まれ
1967 年 九州歯科大学を卒業
1973 年 福岡市東区にて増田歯科開業
1982 年 福岡市中央区にてマスタ小児歯科開業
1984 年 九州歯科大学 歯学博士
1999 年 故郷の父親の歯科医院へ戻り、マスタ小児矯正歯科医院開業

A4判 88ページ 定価 8,580円(税込) ISBN 978-4-909066-91-6 C3047



本格的な矯正が必要になってからでは、費用も期間もかかり、子どもや保護者の負担が大きくなってしまふ……



もっと早い段階で、自然に歯列を導く方法はないだろうか？

その疑問の答えは、

「口蓋前方部の形態」

の判別+未来予測にありました

POINT!

何千枚もの
パノラマエックス線写真や
豊富な臨床知見に基づき、○型・△型・V型の
3つの口蓋形態から未来の前歯配列を予測

POINT!

本格矯正に頼る前の「早期介入」により、
治療のハードルを下げ、子どもと
保護者双方の負担を最小限に抑えながら、
本来の健全な咬合へと「導く」ための
臨床アプローチを体系化した待望の1冊です

本格的な矯正になる前に！

最小限の介入で理想の咬合へと導く「源流アプローチ」の入門書

本書で得られる 4 つの臨床的メリット

1 子どもと保護者の「負担軽減」を実現

不正咬合の予兆に早期にアプローチすることで、大がかりな装置や長期にわたる本格矯正を回避。子どもの心身の負担も、保護者の費用・通院の負担も大幅に軽減できます。

2 「口蓋前方部」の3分類 による未来予測

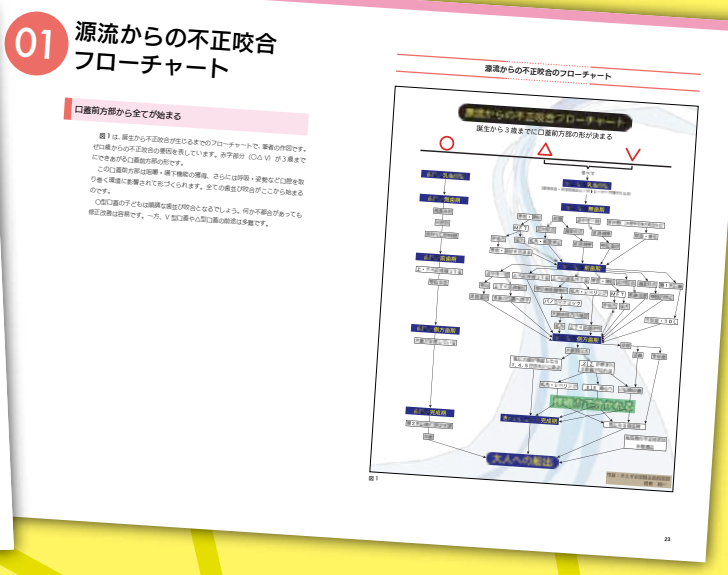
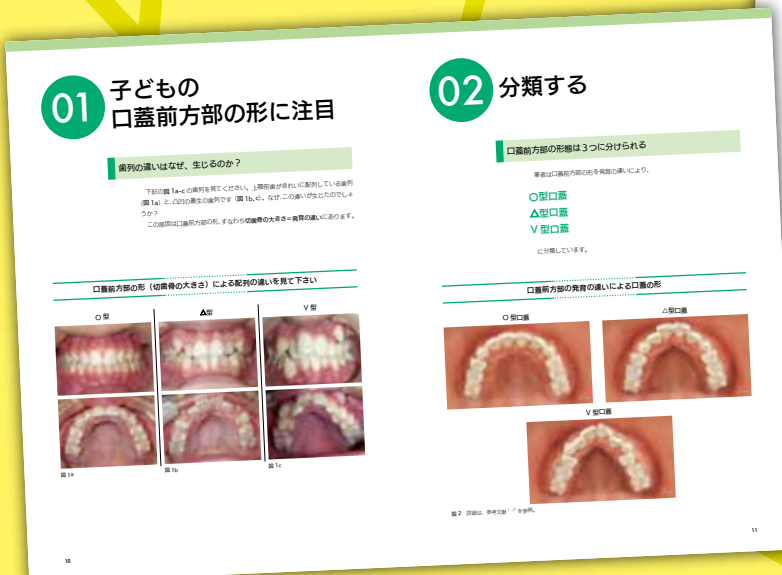
○型・△型・V型口蓋から、将来の不正咬合のリスクと萌出スペースを早期に見抜きます。

3 乳歯列期から始まる 「源流」からのアプローチ

0～3歳までの切歯骨の発育メカニズムを理解し、咀嚼機能の獲得（4つの時期）と合わせた適切な早期対応を解説します。

4 「並べる」のではなく「導く」 歯並び法という思考

犬歯歯胚の萌出方向異常の発見（パノラマエックス線活用）、MFTの臨床応用、トレーナーの活用法まで具体的に提示します。



こんな先生にお薦めです



小児の予防矯正・
咬合誘導に力を入れたい、
治療の負担を減らしたい
歯科医師



歯列不正の
早期対応に
必要性を感じている
歯科医師



小児患者や保護者と
関わることの多い
歯科衛生士

CONTENTS

CHAPTER

1 口蓋前方部の形態から診断する

- 01 子どもの口蓋前方部の形に注目
歯列の違いはなぜ、生じるのか？
- 02 分類する
口蓋前方部の形態は3つに分けられる
- 03 予測する
口蓋前方部の形から未来の前歯配列を予測できる
- 04 口蓋の発生と成り立ちを知る
口蓋前方部の形をつくる切歯骨の発生
- 05 切歯骨の大きさが重要
切歯骨と歯槽堤の発育のバランスが口蓋前方部の形を決める
- 06 切歯骨の大きさはいつ決まるのか
切歯骨の大きさは誕生から3歳前までに決まる
- 07 上下4本の乳歯が萌え揃うまでの時期が重要
切歯縫合の発育
- 08 口蓋前方部の形は不変
"力を加える"という介入の意味

CHAPTER

2 乳歯列期のみかたと対応

- 01 源流からの不正咬合フローチャート
口蓋前方部から全てが始まる
- 02 乳歯原型を診る
良好な乳歯原型・気になる乳歯原型
- 03 乳歯列期：咀嚼機能は4期でつくられる
無歯期・前歯期・奥歯期・完成期
- 04 咀嚼機能獲得が不十分な子どもたち
咀嚼機能の未熟さを疑うべき6つの事項
- 05 "気になる乳歯原型"で早期対応が必要なケースとは
子どもの協力が得られるのであれば、交叉咬合とII級II類は早期に対応すべき

CHAPTER

3 永久歯列のみかたと対応

- 01 乳歯原型を引きずり永久歯列期に入っていく
永久歯列の配列・咬合も4期で完成する
- 02 ○型口蓋、△型口蓋、V型口蓋：各時期の注意項目
診断用基本チャートを活用してみてください
- 03 不正咬合への対応：筆者の考え方
並べるではなく"導く"
- 04 不正咬合の基本的な治し方
その子本来の咬合、配列を取り戻す
- 05 上顎前方部が狭くなるとV型口蓋になる
上顎が狭窄している場合に見られる5つの傾向
- 06 2級咬合の治し方
筆者の定義による"2級咬合"
- 07 第一大臼歯は咬合の要
第一大臼歯のためにも、第二乳臼歯の保護が重要
- 08 犬歯歯胚萌出スペースが大事
犬歯歯胚を、正しい萌出方向に向かわせることの重要性
- 09 犬歯歯胚は左右対象に発生し、成長する
550枚のパノラマエックス線写真で判明したこと
- 10 犬歯歯胚萌出方向の異常を早期に知る方法
パノラマエックス線写真を活用する（乳歯列後期～永久前歯期前）

まとめ ゼロ歳から始まる
「源流からの不正咬合」その治療コンセプト

- 01 「源流からの不正咬合」で筆者がめざすのは
- 02 安定した咬合のあるべき姿とは
- 03 筆者が提唱する歯並び修正法のコンセプトとは
- 04 歯を動かすにあたっては
- 05 成長期の歯列矯正：よくある疑問に答えて